

仙人通信 168 日の出山(902m) 御岳山(929m)

日の出山は、奥多摩の御岳山の東の尾根に連なる山で、朝日が昇るのを御岳山から望める事から付けられた山名だそう。この山も御岳山同様に秩父帯に属し石灰岩質の山である。

日の出町にあるつつつ温泉の先の林道を2km程進んだ所にある梅野木峠に車を置いて日の出山・御岳山をピストンする事にした。

梅野木峠までは檜林の薄暗く狭い舗装された道路で、峠から先は施錠されており進めない。広い場所を見つけて車を置いてのスタートである。200m程の所に無線中継のアンテナがあり、ここから檜林の中に作られた幅1m程の林道状の登山道からのスタートである。

峠から15分程歩くと、尾根に向かいピンク等のテープが幹に捲かれたポイントで、まき路と別れて進む。10分程で最初のピークである高峰(755m)だ。北側は落葉樹林となり視界が開ける。さらに10分程で竜の髭(768m)のピークである。若干下った所で、つつつ温泉への道と合流する。ここからは、檜等の丸太で作られた階段が山頂へと続く。檜林の下には、クロモジやアセビそして白い穂をつけたコウヤボウキ・更にヤマアジサイだ。20分程で前方が開けて、石の階段をつめると日の出山山頂(スタートから1時間)である。南には大山から伸びる浅間尾根や湘南平が、又日の光に相模灘も輝き江の島や三浦半島までも望める。

我が家から望める北限がこの日の出山であることから、望遠レンズを取り出し確認するも、手前の橋本から先は、霧が掛かり我が家を探すのは無理であった……。東側も西武球場や狭山湖は望めるも、それから先は霞んでしまっていた。北側は高水三山や川乗山・そして鷹巣山や飛龍までも望める。又これから進む御岳山も真近かだ。西側は若干檜もあるも権現山の後ろに白い富士山が顔を覗かせている。蛭が岳を中心に丹沢や道志の山も確認出来た。正に山頂は360°の展望台である。休憩後30段程の石の階段を降り、山小屋の手前の階段を更に下ると軽トラックが走れる程のコースとなる。コースは尾根の南側の平な道であるも、檜の林に囲まれ展望は利かない。30分程で金毘羅尾根や養沢方面を示す道標と御岳山神社の立派な鳥居だ。ここからは緩い登りとなり、墓地や民宿を過ぎ20分程で神社の階段の下だ。手洗いを済ませ石の階段を詰めた先が御岳山神社であり、初詣をさせていただいた。神社右の傍らには、鎌倉時代にこの地を治めた畠山重忠の銅像(秩父系の武将で、嵐山町に城を持った鎌倉幕府の御家人)である。頼朝が挙兵した頃を感じながら、荒川・多摩川が流れる関東平野を眺めさせていただいた。本殿の前からは、東に向かい伸びる尾根と日の出山をも確認した。帰りに再度日の出山の山頂に立ってみたが、霧が更に強くなっていて残念……。休憩し風景を堪能し、梅野木峠に戻った4時間30分(21000歩)の山旅でした。帰路にあるつつつ温泉に立ち寄り、汗をかいた体を癒し、山旅のしめが出来ました。(h30.1. 11)

日の出山山頂へと延びる階段



日の出山山頂



神社横の畠山重忠像

